

トルコギキョウの摘蕾による切り花品質向上

福島県農業試験場 会津地域研究支場

平成12～14年度福島県農業試験場成績概要

分類コード 05-19-16000000

部門名 花き-トルコギキョウ-生育調節

担当者 小林祐一・江川孝二・菅野 清

I 新技術の解説

1 要旨

トルコギキョウの秋出し栽培は、夏越しの栽培であるため、高温や長日により、切り花長が短くなるなど品質が低下しやすい。そこで、摘蕾による切り花品質向上技術を確立した。

- (1) 摘蕾は、第1小花及び第2小花とも発蕾1週間後までに行う。
- (2) 切り花品質は、第2小花まで摘蕾すると、切り花長が長くなり、出荷調整後の花蕾数も増加する。
- (3) 上位規格の割合は、第2小花まで摘蕾すると増加する。摘蕾時期の早晩による差はみられない。
- (4) 収穫期は、摘蕾部位や摘蕾時期の早晩により大きく変わらない。
- (5) 草姿は、第2小花まで摘蕾しても乱れない。

2 期待される効果

秋出し栽培において、切り花品質の向上が図られる。

3 適用範囲

県内全域。ただし、施設栽培とする。

4 普及上の留意点

- (1) 摘蕾の時期が遅れないよう適期作業に努める。

II 具体的データ等

表1 トルコギキョウの摘蕾部位や摘蕾時期が収穫期に及ぼす影響(2002)

定植日	品 種	摘蕾部位	摘蕾時期	収穫期 (月日)			
				平均日	始期	盛期	後期
6月20日	あすかの粧	第1小花	発蕾直後	9. 4	8.31	9. 4	9. 9
		第1小花	発蕾1週間後	9. 8	8.31	9. 8	9. 7
		第1小花及び第2小花	発蕾直後	9. 7	9. 4	9. 7	9.13
		第1小花及び第2小花	発蕾1週間後	9. 5	9. 2	9. 7	9. 9
	つくしの雪	第1小花	発蕾直後	9.12	9. 8	9.12	9.17
		第1小花	発蕾1週間後	9.12	9. 8	9.11	9.16
		第1小花及び第2小花	発蕾直後	9.14	9.11	9.15	9.18
		第1小花及び第2小花	発蕾1週間後	9.15	9.13	9.17	9.20
7月1日	あすかの粧	第1小花	発蕾直後	9.12	9. 8	9.12	9.16
		第1小花	発蕾1週間後	9.11	9. 7	9.12	9.23
		第1小花及び第2小花	発蕾直後	9.17	9.13	9.17	9.23
		第1小花及び第2小花	発蕾1週間後	9.17	9.10	9.17	9.25
	つくしの雪	第1小花	発蕾直後	9.20	9.15	9.18	9.27
		第1小花	発蕾1週間後	9.19	9.12	9.20	9.27
		第1小花及び第2小花	発蕾直後	9.27	9.23	9.27	10. 3
		第1小花及び第2小花	発蕾1週間後	9.25	9.19	9.24	10. 2



図1 摘蕾をしたトルコギョウの
収穫時における草姿(2001)
注。左から無処理、第1小花の摘蕾、
第1小花及び第2小花の摘蕾

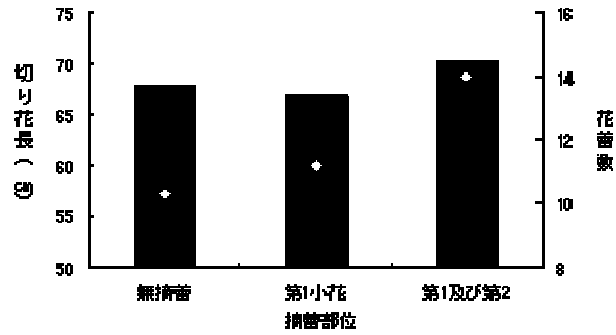


図2 トルコギョウの摘蕾部位と切り花長及び花蕾数の関係(2001)
注。1)摘蕾部位第1及び第2は第1小花及び第2小花
2)品種はあすかの腰
3)8月15日定植
■切り花長 ◇花蕾数

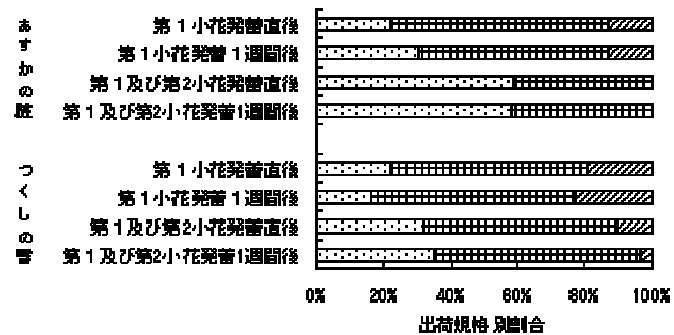


図3 トルコギョウの摘蕾部位や摘蕾時期の違いと出荷規格別割合の関係(2002)
注。1)出荷規格は平成14年度福島県青果物標準出荷規格により区分
2)7月1日定植
□2L(切り花長80cm・開花数は3~5輪で蕾数は開花数と同程度)
■L(切り花長70cm・開花数は3~5輪で蕾数は開花数と同程度)
▨M(切り花長60cm・開花数は3~5輪で蕾数は開花数と同程度)

Ⅲ その他

1 執筆者

小林祐一・草野秀一

2 主な参考文献・資料

なし